



認め合い ともに伸びよう

鴨島東中学校 第1学年便り 令和6年11月29日発行



他者を思いやる生き方

2学期が、あと1か月になりました。授業や人権学習、学校行事や部活動と一生懸命頑張ってきました。特に、人権学習で心を耕すことを通して、人の心の痛みに気付き、寄り添うとともに、差別や人を傷つけることを許さず、生活を振り返って、自ら行動できる自分をめざそうと語り合いを続けてきました。

また、総合的な学習の時間には、オキナワ・ヒロシマ・ナガサキ・徳島大空襲・ホロコーストについて調べて、戦争と平和について考える平和学習を始めています。



検索 新 鴨島東中HP

市人権教育研究大会～「真実を見抜き、ともに生きる」～

11月7日(木)、市人権教育研究大会が本校で開催され、市内中学校の先生方に、人権学習の授業を公開しました。部落差別に関する資料「牛のかたき打ち」を通して、自分自身の生き方を問い直し、日常生活の中で差別を見抜き、一人一人が行動し、仲間とつながり、差別解消の主体者となる生き方を追求しました。その中で、生徒たちは、部落差別が差別意識を巧妙に利用して作られたものだとして理解し、差別に対して怒りをもつとともに、学級や友達への思いや、自分自身の生き方について次々と語り合い、心温まる時間を共有することができました。その思いは参観していた先生方をも感動させました。

○みんな自分の意見を進んで発言していたのがすごかった。それに、発言する人の方を向いて真剣に聴いていいなと思った。私はみんなが話すのを聴いて「確かに!」「なるほど」と思った。みんなもきっとそうだっただろう。特に印象に残るのは、Aさんの発言だ。Bさんの話になって「Bさんにみんなが関わっているのが好きだ。」という意見に共感したからだ。Bさんに関わっているのを見ると、「今、クラスが1つになっている。」と感じる。その瞬間が私はとても好きだ。「仲間を見捨てない」私のクラスは最高だ! Bさんもそろって全員で過ごしたいし、またあの瞬間が来てほしいと思っている。○公開授業でみんなの意見を聴いて改めて自分の考えを深めることができた。私は1回しか発言できなかったの、次は2回以上発言したい。「牛のかたき打ち」では、部落差別は絶対にあってはいけないということ、勝手に決めつけて判断するのはよくないことを学んだ。「見物人」や「役人」はつまらない生き方をしていて憎らしいし、行動が許せない。だから、私は絶対に「見物人」や「役人」のようにならない。



職業講演会～先輩(職業人)を迎えて～

11月15日(金)、キャリア教育の視点から職業講演会を行いました。鴨島東中学校の卒業生である、建設業を営む松島光作さんと情報サービス業を営む岡田和也さんを講師に迎え、1年生に仕事内容や働くやりがい、職業までの道筋などについてお話をいただきました。



○私は仕事をするのには自分が楽しむことや、自分の特技を生かせることが大切だと思った。理由は、自分が楽しめるやりがいのある仕事でないと続かないと思ったからだ。それに加えて、目標さえあればどんなことでも続けられるのかもしれないと思った。目標達成のために、難しいことにも挑戦することもよいと思う。○お話を聴いて、仕事は「表」というより「裏」で活躍することだと感じた。松島さんは平等院など世界遺産の建設に関わり、地震が起きても倒れないようにする仕事の経験があり、いわゆる「縁の下の力持ち」だと思った。岡田さんは、マックのモバイルオーダーの後に届くお勧め商品の紹介などスマホに届くメッセージを作る仕事をしてカッコいいと思った。「表」でなく「裏」で活躍する方たちの話を聞いて勉強になった。私はどんな職業に就くのかな。

堀内佳さんによる人権コンサート

11月25日(月)、高知県出身のシンガーソングライター堀内佳さんによる、命や人権をテーマにギター弾き語りのコンサートがありました。

○私は「絶対に自分を嫌いにならないで。」という言葉が心に残った。他の人のことだけでなく、自分を大切にしないと、周囲を愛せないからだとして納得した。○堀内佳さんのおかげで、僕の心が大きく変わったことがある。目が見えないのは、いいことでも悪いことでもなく、「人だ。」ということだ。今まで僕は、障がいがある人はかわいそうと思っていた。今思うと、とても間違っていたとわかった。そして、僕も堀内佳さんのように、笑顔で人を救える人になりたい。



<保護者のみなさまへ>

12月2日(月)～6日(金)まで教育相談を実施します。2学期の子どもたちの様子について話し合い、成長につなげる機会にしたいと思います。12月8日(日)は合唱コンクールです。1年生は9時過ぎから歌う予定です。朝に夕に練習してきた成果を発揮して一生懸命歌う子どもたちの姿をぜひご覧ください。